



No.73

元気っ子通信

平成 31 年 3 月 5 日発行

長い間、便りも出さずにすみませんでした。

もうすぐ1年も終わろうとしています。頼りなかった1年生もなんとかそれぞれに自立できてきたかなと思います。

毎日の子どもの様子を見てみると、いろんなことが起きています。私たち指導員はどう伝えたら、子どもがいい事、駄目なことに気づいてくれるのかと頭を悩ましてしまいます。

集団の中で仲間と気持ちよく生活してほしいというのがこの学童の願いです。

もちろん楽しい事ばかりあるはずはありません。いやな思いをしたり、されたり、泣いたり怒ったり、子どもの時にこそたくさん感情をぶつけ合いながらもすぐに仲直りして遊ぶことで、友だちとのかかわり方を学んでいくのです。これが大人になった時の力です。

そんな中で、気になるのが言葉遣いです。大人に向かって話す言葉、友だち同士での言葉に驚く時があります。それから、身のまわりの持ち物を大切に扱ってほしいなと思います。

忘れ物の持ち主がわからないままになってしまうことがあります。何でもすぐに代わりのものが手に入り、困ったと感ずることがないんだろうなと思われず。

手洗いしても服でふいたり、机に座ったり、日ごろの生活をもっと大切にしてほしいと思います。

家庭でていねいに言葉がけがなされているか、いないかで差があらわれてきます。人にとっていつが大事な時期というのはありません。一日一日の積み重ねです。いくつになっても変わらないことだと思います。人格はそうしてできてくるものです。

ていねいに関わるとは距離をおき、必要な時に手をさしのべたり助言したりすることです。いつまでも大人の助けを求めないで、考えて行動できる人になっていくことで自分も楽しく生活ができるようになるものです。

【新1年生へ】

4月1日から学童を利用できます。

お弁当、お茶、着替え1組、手拭きのハンカチ又はタオル を持参してください。

いつから利用するか連絡をお願いします。

中瀬 美津子